

仙台白百合学園 学園報

Sendai
Shirayuri Gakuen
Campus Report

Vol.103

仙台市東区東山1-2-1
幼稚園 (022) 777-6777
小・中・高 (022) 777-3777
e-mail (022) 777-5777

令和3年
6月29日発行

<http://www.sendaishirayuri.net/>

シャルトル聖パウロ修道女会
～創立325周年～
喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。
ローマの信徒への手紙 12章15節



仙台白百合学園

2022年度 園児・児童・生徒募集のご案内

詳細は学園ホームページをご覧ください。

幼稚園

Kinder-garten

お問い合わせ・連絡先
TEL:022-777-6777
E-mail:kinder-info@sendaishirayuri.net
<http://kd.sendaishirayuri.net/>
ロンちゃんBlogも
ご覧下さい。



今後の行事日程

- 園庭開放 7月 3日(土) 9:30～11:30
9月 4日(土) 9:30～11:30
10月 9日(土) 9:30～11:30
おへやでモンテッソーリのおしごと体験もできます

- 運動会
9月25日(土)
9:30～11:30
未就園児の
かけっこ参加が
あります。
(要申込み)



園舎配布

10月 1日(金)～10月30日(土)
9:00～17:00(土日を除く) ※郵送も可。

入園説明会

10月 2日(土) …… 9:30～11:00
※要申込み(お子様と保護者)

保育見学会

10月14日(木) …… 10:00～11:30
※要申込み(保護者のみ)

園舎受付・手続き

11月 1日(月) …… 9:00～12:00

小学校

Elementary school

お問い合わせ・連絡先
〒981-3205 仙台市東区東山1-2-1
TEL:777-3777
FAX:777-3778
<http://el.sendaishirayuri.net/>

申し込み方法

詳しくは本校ウェブページをご覧ください。上記連絡先までお問い合わせ下さい。



今後の行事日程

学校見学 随時受付中!!



園舎交付

6月 1日(火) ※郵送も可。

園舎受付

併設 9月13日(月)～18日(土)
一般 前期 9月27日(月)～10月29日(金)
後期 11月1日(月)～12月10日(金)

考査期日

前期 10月30日(土) 後期 12月11日(土)

中学・ 高等学校

Junior & Senior High School

お問い合わせ・連絡先
TEL:022-777-5777
<http://www.sendaishirayuri.net>
学園の日常生活をのぞく「東山日記」もご覧下さい。

- 個別の学校見学・進学相談会は以下の日程でおこなっています。お電話またはホームページ経由のメールでご予約ください。
- 6月下旬より受付しています

学園ホームページをとおして、学校の様子や試験に関する情報をお届けします。ぜひご覧下さい。



小学生の皆さんが参加できる 中学校の行事日程

- 中学校オープンスクール 7月17日(土)
- 中学校入試説明会 { 10月 2日(土)
10月23日(土)
- 学校公開 10月12日(火)
- 入試ポイント講習会 11月20日(土)

中学生の皆さんが参加できる 高等学校の行事日程

- 高校オープンスクール 7月10日(土)
- 学校公開 10月12日(火)
- 高等学校入試説明会 { 10月 9日(土)
11月 6日(土)
- 英語リスニング講習会 11月20日(土)

学園においていただく行事では送迎バスを運行します。

中学校入試日程

…………… 2022年 1月6日(木)

高等学校入試日程

推薦入試 …………… 2022年1月12日(水)
A日程 …………… 2022年2月1日(火)
B日程 …………… 2022年2月3日(木) 専願・一般

エンカレッジコース 通信制課程

Encourage Course

お問い合わせ・連絡先
TEL:022-777-6625
白百合エンカレッジ 検索



今後の行事日程

- オープンスクール …………… 7月10日(土)
オンラインオープンスクール(ECのみ) 9月18日(土)
- 学校説明会 ※いずれも午後より 場所本校
8月21日(土)・11月13日(土)

- 教員対象学校説明会
6月26日(土)

●転入学・編入学は随時受け付けます。
●個別の学校見学・進学相談は随時行っています!

出願期間

第Ⅰ期 2021年12月1日(水)～2022年1月 7日(金)
第Ⅱ期 2022年 2月1日(火)～2022年3月11日(金)

入学考査

第Ⅰ期 2022年1月14日(金)
第Ⅱ期 2022年3月16日(水)



学校長より「挨拶」

つなぐ力を信じて

中学校長 藤田 正紀



学園記念日おめでとうとうございます。今年も学園記念日を迎えられたことを共に喜び合います。昨年の五月頃に原稿を書いている時点では、新型コロナウイルス感染症防止のため休校が続き、まだ学校が再開されていませんでした。六月によくスタートしたものの、その後の感染者数は減少と増加を繰り返して、年度末には宮城県が独自に緊急事態宣言を出す状況もありました。しかし感染防止に対する多くの方々の協力もあり、予定通りの日程で新年度を開始することができたことは幸いでした。学校行事等の実施にあたってはまだまだ制限せざるを得ない状況ですが、学習に関してはおおむね順調に進んでいます。不自由さはありませんが、毎日生徒たちが登校しているという点に何よりも感謝したいと思っています。

昨年とは異なり、中学校、高等学校ともに総合体育大会は行われる予定です。練習の成果を試す場があることが、どれだけ生徒たちの励みになるかを考えると、感染がこれ以上広がらず、今後予定されている大会が無事に実施されることを願うばかりです。

さて、今後私たちが直面していく課題として、コロナ前に行ってきた様々な事務の継承があると思います。コロナ以前の学校行事の雰囲気や意義などをどのように次の学年の生徒たちに伝えていくか、ということですね。現在の三年生が、間もなく一年生を終えようという矢先に、長い臨時休校に入りまして、二年生になってからは一年間コロナ禍の影響を受け、制限の多い学校生活を送ってきた状態です。つまり、今学校の中には、コロナ前のことを知らない学年の方が多くなっているわけですね。



小学校長 早坂 博之

今、必要なことを子どもたちに

画や運営の中心を担ったのは高校三年生です。同じ空間にはいなくとも、画面の向こうから語りかけてくる姿は、どれも一生懸命で、大声を出すことを控えながらも「社行」するにふさわしい雰囲気を醸し出していました。白百合の一生懸命な姿からは、まごころを感じることが出来ます。そんな生徒たちがいる限り、その心意気を次につないでいってほしいと思っています。

学園記念日おめでとうとうございます。依然、新型コロナウイルス感染症の出口が見えない状況のなか、学校が通常通り登校できる状態まで今年度を始められたことにほっとしています。こうした厳しい状況にあって、学校がやらなければならないことは何か自問する日々が続きます。こうした状況だからこそ、教育の現場では力の入れどころがあるはずだと考えるからです。

私たちは未来そのものです。子どもたちの学びを止めてしまおうことは子どもたちの未来に開き、これから先の社会に影響します。そこに加えても「三つ」。まず子どもたちの健全を守る。二つ目がとても大事になっていると考えています。子どもたちも、大人と同じように感染するかもしれない不安の中で生活しています。それはばかりではなく、遊びやお出かけが制限されている状況も子どもたちにとってストレスになっているはずですね。

こんな時に有効なのはやはり体を動かすこと、スポーツでしょう。汗をかき、ストレスの解消につながります。運動やスポーツを充実させていく必要があると考えています。そして最後に、しなやかな心が持てること、心のバランスを取る工夫ができることこそ窮地を乗り越えるポイントとなるはずですね。

子どもたちにはよくこんな話をしています。お出かけや遊びにも行けなくてつまらないと考えるのではなく、その代わりおうちの人とゆっくり過ごすことができたとか、たくさん本が読めたとか、マイナスをプラスに転じるような考え方をしましょう。その訓練が必要ですよ。

それだけでは乗り換えられない状況があるのはわかりつつ、大人である私たちも前向きでしなやかな心をもち、心の中には折りを忘れないようにしたい



幼稚園長 石岡 順子

「三つ」のねらい

学園記念日おめでとうとうございます。四月から新園長に就任いたしました。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

幼いころの記憶というものはどんなに年月が経っても感覚と共に鮮明に残っていて、気づかされることは、自分が見たり触ったり聞いたり嗅いだり味わったりする経験が、どんなに大切かということですね。私はモンテッソーリ教育に出会わなければ、幼稚園に経験したこととも思えない出逢いとして色づけていったなつかしい思い出です。モンテッソーリ教育に携わってきたお陰で、現在もこのねらいにある原点を見失ってごなく、子ども達と向き合っているのだと思っています。

幼稚園は教員が整然と並び感覚器官を刺激する魅力的な環境を子ども達に提供しています。子ども達が、自分と遊び、夢中で活動するのは、成長過程の上でもとても自然な姿であり内的欲求を満たす要素に溢れているからです。誰でも、

学校長より「挨拶」

好きなことが見つかることを目指して、またやりたくあるものを、繰り返し続けていく心づかいを身につけてほしいと思っています。同時に子ども達にも好きなことを選べる環境があれば、子ども達にとって幸せなことであり、それによって将来への道や可能性が広がっていくことを願っています。

モンテッソーリ教育が特殊な教育と言われがちなのは先生が前に立ち、一言に学ぶスタイルが一般的だからかもしれません。幼稚園では、その一般的な指導方法ではなく、子ども達にとって最適な教育が、自ら学びたいものを選びたいことができる「モンテッソーリ教育」であると判断し、一斉保育から切り替えました。四十六年前、当時の園長先生の指導のもと先生方は教材作りにお励みいただいています。

選択するということについては、時に迷ったり躊躇することが多々あります。子ども達にとってその機会が、今後大人になっていくと後悔も訪れることでしょうか。多種多様な価値観の現代にあって、どう生きていくか、生きる力の土壌にへりを幼児教育は担っています。

今年、学園の設立母体であるシャルトル聖パウロ修道女会は三十三五周年を迎えました。その大きな歴史を歴史と深い愛の中で幼稚園は一人一人を大切に、キリスト教の愛の教えを伝えながら心の豊かさも育んでいけることを感謝しています。

今年度も子ども達と一緒に、喜びや発見の感動を分かち合っていきたいと思っております。

対談・勤続二十五周年

- 司会 一年勤続おめでとうとうございます。二十五周年の歩みを一文字で表していただけますか。
- 早坂 一文字で表すのは難しいのですが「折」という字です。校長の立場になり「折る」「信じる」という文字が心に迫ってきました。何かを始めるとき、壁に当たったときに折る、信じる、に教わられてきました。
- 藤田 白百合学園の「白」です。「白」は何にでも染まる色といいますが、染まらぬ「白」はともも強い。「白」は周りを引き立て、「白」があることで安定する。白百合学園の伝統を考えたときに「白」が浮かんでくる。「白」の素晴らしいさを感じ始めたところですね。
- 司会 あなたにとって「白百合学園」とは、
- 藤田 生徒のときは通学の場、友達と笑顔を交わす場所でした。今も通学場ですが、人を孤独にさせない場所です。誰かが自然に気にかけてくれる場所。私が体調を崩したときには周りの先生方の素早い連携力に驚きました。
- 早坂 小学校でも先生方の連携の速さは確かにあります。東日本大震災の混乱のさなか、目の前の出来事にすぐに取り組みで解決の仕組みを作っていく。運動会、学習発表会もそうですが先生方の協力がすごいですね。コロナ休校が続いたときにもZOOM配信の仕組みを研修しながらオンライン授業を短時間で立ち上げました。先生方のチームプレイが自然に発揮される雰囲気は素晴らしいです。
- 藤田 そうですね。それこそ「白」だと感じます。この学園だから二十五周年続いたと思います。
- 早坂 起動力、人そのものが白百合学園の「押し」ですね。
- 司会 この「押し」を児童・生徒たちの教育にどのように伝えていきますか。
- 藤田 子どもたちは教えられても心で感じなければ行動には出ません。
- 司会 それは心を育てる教育をいつも意識しているということですね。
- 藤田 心で感じるから行動が備わるのだと思います。白百合生は人を支えること、お互いを活かす。白百合生は人を支えること、お互いを活かす。白百合生は人を支えること、お互いを活かす。白百合生は人を支えること、お互いを活かす。



小学校長 早坂 博之 中庭数学科 藤田 正紀

アヴニール(未来)募金のお知らせ

300年以上にわたり受け継がれてきた白百合学園の設立母体であるシャルトル聖パウロ修道女会の「奉仕の心」を繋いできた仙台白百合学園は、2018年に創立125周年を迎えました。数えてきた建学の精神を身に着けることで、各時代のニーズに応えながら、社会に貢献できる人材を明治、大正、昭和そして平成と輩出して参りました。平成10年4月には緑深い泉区紫山に移転し、明るい広々とした校舎で生徒・児童・園児たちは、思う存分日々勉学、奉仕活動などを通して自己研鑽に励んでおります。部活動では、文芸部、かるた部、放送部等が全国大会出場を果たし、他の部活動も生徒自身が、高い目標をもって活動しております。平成27年度には文部科学省より(全国123高校のひとつとして)名譽あるスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、修道女の方々がそうであったように、世界で通用できるグローバル人材の養成に邁進するべく日々努力している次第です。一方、少子化が進み、思うように定員確保が難しい状況も近年続いております。

そこで今後、奉仕の精神を国際社会で発揮できる人材を育成すべく、教育・研究のさらなる高度化とそれを推進するための施設・設備をより充実させるため、在学生、卒業生、教職員及び一般の方々へ幅広く寄付金を募ることいたしました。是非、趣旨を御理解賜りましてご協力の程宜しくお願い致します。

- 生徒・児童・園児支援資金
 - 教育環境整備資金
 - 緑化関連事業資金
- 受付期間：令和3年4月1日～令和3年12月10日
 受付方法：本学園ホームページの申込フォームにて受け付けております。
 右記QRコードからもアクセスして頂けます。

※詳細につきましては、本学園ホームページをご覧ください。なお、FAX・郵送でも受け付けておりますので、事務局専科担当にお問合せください。(TEL 022-777-5777)

仙台白百合学園幼稚園

2021年度 スクールバス 路線図



幼稚園



年長児に インタビュー

- 01 将来の夢は?
- 02 一番楽しいのはどんな時?



① おおきくなったから、ジュニアリストになりたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。おしゃべりしたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。

② おおきくなったから、ジュニアリストになりたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。おしゃべりしたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。



① ケーキ屋さんになりたい。チョコケーキ、パナケーキ、いろいろ作りたい。おしゃべりして、いろいろなことを知りたい。

② おおきくなったから、ジュニアリストになりたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。

① おおきくなったから、ジュニアリストになりたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。

② おおきくなったから、ジュニアリストになりたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。

① おおきくなったから、ジュニアリストになりたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。

② おおきくなったから、ジュニアリストになりたい。たくさんおしゃべりして、いろいろなことを知りたい。

おしごと紹介 日常生活の練習

幼稚園の保育室にはたくさんのおしごとが並んでいます。子ども達は取っ手の付いた容器を両手に持ちます。一方には水や穀物が入っており、もう一方の器へ中身を移していきます。容器はガラスや陶器でできており、割れやすく重さがあるため、指先で力を入れ、しっかりと取っ手を握る力が大切です。また注ぐ際には、一定の速度で注ぐように手を「コントロール」して注ぎます。子ども達は一定に注がれる音に心地よさを感じ、何度も繰り返して、心の安定にもつながっていきます。このように、全体を使って、子ども達は「おしごと」の時間を楽しく過ごしています。



一人一台のiPadが導入されました

昨年度に引き続き、ICT教育をさらに進めるため、四月より児童一人に一台のiPadを導入し、学年の発達段階に応じて、積極的に活用を進めています。



1年生

生かつかで虫のしゃんがとれて、うれしかったです。(川しま いろは)

iPadを使ってじゅぎょうをしたら、むすかしかったし、たのしかったし、あたらしい出あいがあったとおもいます。(山下 かのり)

はじめて学校でiPadをつかったときはびっくりしました。もっとつかいこなしたいです。(たかはし さくら)

このまえiPadのしゃんがたいが出来た。いえのおでつたいで、iPadで、データをとりました。(中村 み穂)

たのしかったことは、MetaMoj Classroomのさんぷうのアンケートをしたことです。(やじ みほ)



3年生

国語の時間に音読をiPadで友だちと録音し合いました。はつきりと書えていないところがよく分かりました。友だちからアドバイスをもらって、声を大きくしたら、上手になりました。お母さんにも聞いてもらったら、「最初と後では、声の大きさがかわっているね。比べることが大切だね。」と言われました。(宮城 麗子)

理科で春のせせんをしゃんにとりました。大きくしたり小さくしたりするのがむすかしかったです。生き物図かんにしゃんをはって、文章を書いたら、見つけた場所や気づいたことがよく分かりました。(橋本 綾音)



わたしが見つけた生き物ずかん
名前 スミレ
見つけた場所の口
見つけたとき、
色は、
この草は、
たわわと、
つぼみは、
3つ、
大きさは、



3年生

特におもしろかったものは、ふせんに文字を書き、それをコピーし、他のページにはりつけたときです。(高橋 麗子)

ローマ字でうちごものはむすかしいけれど、勉強にもなるし、けんさくするといろんなものが出てくるからおもしろいです。(大泉 悠)

私は図工をClassroomに入れてほしいです。あと、いろいろなことを調べてみたいですね。いろいろな授業でタブレットをいっぱい使いたいです。(根子 麻桜)

社会のときに、宮城県のこけしを調べるのがはまりました。理科のとき、春をさがして、タブレットを使って写真をとって、楽しくできました。(吉川 結莉)



3年生



3年生

教科書だけだと分からないことも動画で見ると理解がより深まる。しかも、とても効果的だったと思います。他にも、iPadでみんなと意見を交かんしたりもできました。こうすることで国語の力も上がると思うので、良いと思います。(酒又 璃子)

iPadを使って役に立ったことは、みんなMetaMojでグループになり、話し合い、意見を書き込んだことです。また、人の意見に対しての感想を、いろんなことを書くことによって、勉強の仕方が自分で見つけられるのではないかなと思いました。(林 彩彰)



3年生

どの子も初めのうちは「わからない」「どうすればいいの？」とたまご味の様子も見られましたが、次第に慣れ、たくさん先生の機能を覚えていきました。次はどんなことができるのか、楽しみですね。

一年生 はじめての運動会

五月三十日、晴れ渡る青空の下、一年ぶりの運動会が行われました。例年とは異なる短縮された形での開催でしたが、赤組も白組も練習の成果を存分に発揮し、充実した一日となりました。



すすめおどりでは、くぐぐぐまわりました。おうちで、まぢがわないうにたくさん練習しました。きれいなかんじでおしやうしました。うれしかったです。すすめおどりをがんばりたいです。(あけみ せい)

はじめての運動会は、たまたまです。みんながかわるかわるで、たくさん練習しました。おどりをがんばりたいです。うれしかったです。(さかい はかせ)



リレーで、がんばって走りました。おうちで、まぢがわないうにたくさん練習しました。きれいなかんじでおしやうしました。うれしかったです。すすめおどりをがんばりたいです。(あけみ せい)

はじめての運動会は、たまたまです。みんながかわるかわるで、たくさん練習しました。おどりをがんばりたいです。うれしかったです。(さかい はかせ)

きれいにおどりました。これからは、ろくねんせいみたいにおどりたいとおもいます。(うぢや みほ)

いちばんこころのこころは、リレーです。めかされないようにはしたら、とてももちよかったです。おんせいのかけで、いになれました。とびあがるくらいうれしかったです。らいねんもリレーをしたいです。(あけみ せい)

リレーで、いになれました。めかされなかったからとびあがるくらいうれしかったです。らいねんもリレーがあつたら、いになれようかなと思います。(あけみ せい)

わたしはあまりはいらなかつたけど、みんながたまをいっばいいてくれたおかげで、たくさんはいりました。らいねんも、うんどうかいはあかみです。うんどうかいはあかみです。(あけみ せい)

いちばんこころのこころは、リレーです。めかされないようにはしたら、とてももちよかったです。おんせいのかけで、いになれました。とびあがるくらいうれしかったです。らいねんもリレーがあつたら、いになれようかなと思います。(あけみ せい)

いちばんこころのこころは、リレーです。めかされないようにはしたら、とてももちよかったです。おんせいのかけで、いになれました。とびあがるくらいうれしかったです。らいねんもリレーがあつたら、いになれようかなと思います。(あけみ せい)



五年生 米作り体験学習

五月十一日、よく晴れた空の下、学校の裏田にて、田植え体験が行われました。昨年度未実施だったため、今年度は五、六年生合同での活動でした。



田んぼに入るとき、少しとまどいでしたが、楽しく苗を植えることができました。終わった後、足の泥を落とすのが一番大変でした。機械を使うと作業が楽になりますが、手を使って作業をしたことで、農家の方の米作りのこだわりも伝わってきました。(須藤 優希)

田んぼの中に入った時、ネチヨツと音がしたのでびっくりしましたが、慣れてくるとスムーズに歩けるようになりました。田植えが終わった後、

色々の農具の説明を聞きました。私が一番印象に残ったものは、「馬鍬」です。馬にひかせる農具を使って、たことがわかりました。(高橋 すみれ)

はじめて田んぼに入った時、少し変な感じがしました。苗を植える時、本数を数えながらまっすぐに植えました。たまに虫がいたので、ふまなように気をつけてよかったです。昔の道具の説明を聞いて、昔は、こんなに大変な作業を、時間をかけてやっていたんだなあと思いました。(金森 みなみ)

田んぼがあんなにどろどろして、深いとは思いませんでした。苗を植えるのは結構難しく、昔の人はきつと履いて大変だったと思います。あんなにたくさん作ってすごいです。(阪田 結愛)

最初はどろどろでやりたくないなと思ってたけれど、どろどろやっていると、いっつも楽しくなっています。毎日食べているお米は、たくさん時間をかけて作っているということを知りました。今日教えてくださった方は、またこれから

田んぼの中に入った時、ネチヨツと音がしたのでびっくりしましたが、慣れてくるとスムーズに歩けるようになりました。田植えが終わった後、



仕事がたくさんあると知って、もっと手伝いたくなりました。(木村 理子)

土が思ったよりもどろどろで、泥に足を取られて、一歩一歩慎重に歩かないといけないのが大変でした。苗が足りなくなったときに隣のクラスの子から苗をもらって植えたのが楽しかったです。苗を、6本にして植えたい、「いちもち病」になってしまふということが勉強になりました。(角屋 紀密)



▲本校元国語科教師の高橋陽子先生

長崎での研修旅行を十二月に控えた私たちは、元教師の高橋陽子先生によるカトリックと歴史の講話を聞きました。

日本の平戸に初めてポルトガル船が入港したのは二五〇年の事。時を同じくして、宣教師フランシスコ・ザビエルが平戸を訪れ、キリスト教の布教を始めます。その後、豊臣秀吉のキリスト教政策は保護→禁止→弾圧となり、その厳しい弾圧は多くの人々の命を奪い、心身に深い傷を負わせることになりました。

彼らが折りの中で互いに心を通わせていたように、私たちも毎日折りを待っています。生きる時代が異なるだけで、折りを通じて繋がっているように感じました。一つの活動に思いを馳せながら実りある研修にしていきたいと思えます。

研修旅行事前学習
高校二年 吉田 佳乃子

国際文化交流部
フランスへの「手作りマスク」支援活動



今後と世界の国へ支援の輪を広げていきたいです

こんにちは。国際文化交流部です。私たちは昨年フランスがロックダウンになっているニュースに衝撃を受けて、手作りマスクを送ることを考えました。フランスは本校の設立母体であるシャルトル聖パウロ修道女会発祥の地です。親しみのあるフランスのために心を込めて準備を始めました。マスク作りは、9月からスタートして12月にはMサイズ50枚、Lサイズ50枚、計100枚完成しました。一枚一枚ラッピングしてフランス語で作ったシールを貼り、折れないように丁寧に梱包しました。スール吉田めぐみ先生が連絡を取ってください、フランスの修道院へ国際

郵便で送りました。しかし、開封の関係で翌年の1月には学校に戻ってきてしまいました。再度送り直して無事にフランスに届けることができました。



私のメッセージや写真をたくさん送りました

2021年4月にエメールが届きました。お礼のメッセージの他にマヌール方が私たちの手作りマスクを着けてくださっている写真や介護スタッフの方、小学校の子どもたちにマスクを配布されている写真もありました。昨年度はコロナ休校や部活動自粛など思うような活動が出来ませんでした。出来る事を考えて行動することで次のアイデアが浮かんできました。

今度は、フランスのシャルトル聖パウロ修道女会のマヌール方とテレビ電話での交流を企画しています。中・高校舎センターコリドーにフランスからのエメールと写真を展示する予定です。どうぞご覧ください。

国際文化交流部 部長 石川 凜
高校3年

通信制課程 ~ エンカレッジコース「進路ガイダンスに」参加して ~

大学受験とは、今までの学習能力の集大成であると同時に、社会を形成する人間としての学習の第一歩なのだと感じた。小学校~高校の学習は教科書の内容を理解し、問題を解いて自分の知識にしていくものだった。しかし、大学生~社会人の学習は、どんな分野を学び、それをどういった行動につなげていくかは自由であり、また未知数でもある。そこで迷ってしまわないように自分の適性、やりたい事を把握し、足場を固める作業は大切なんだと思った。また、これから大学、就職などを経験し社会で生きていくにあたって適応能力がとても重要だということを知った。「予測不可能時代」と言

われている通り、どんどん新しいものが出てきて、情報や人間の流れも流動的になっていく。その中で自分を見失わずに自ら新しいものに飛び込んで学びの輪を広げていくことこそが適応能力なのではないかと思った。

大学受験を前に、自分のできないところや至らないところばかり目についてしまいがちだが、小さなことでも「これはできる」と思うところを高く高く伸ばすことこそが合格のカギであり、それを育てることは今後の人生でも大いに役立つだろうと思った。

エンカレッジコース 3年 谷代 詩和

第45回 全国高等学校総合文化祭
令和3年7月31日(土)~8月6日(金)
「紀の国わかやま総文2021」出場決定



同部門 代表者決定戦 第1位 大沢 巴(高2)
小倉百人一首 かるた部門 高校かるた部 二宮 侑(高3)

第70回 宮城県高等学校
総合体育大会



高校新体操部
団体 …… 第4位

第70回 宮城県中学校総合体育大会 県大会出場

<p>バドミントン部</p> <p>ダブルス 佐藤知華(中3) 大野真菜(中3)</p>	<p>卓球部</p> <p>団体 遠藤愛佳(中3) 町田来夏(中3)</p>
<p>中学新体操部</p> <p>団体</p>	<p>ソフトテニス部</p> <p>個人 石橋菜花(中3) 部員6名(中3)</p>

新入生の抱負

今年も新型コロナウイルスの影響により保護者の方々に私たちが入学する姿を見ていただけて残念でした。しかし、今は新しい友だちも出て来て、楽しく学校生活を送られることに感謝の気持ちでいっぱいです。入学前には中学校で使う教科書を見て、難しそうでも少し不安に感じたこともありましたが、中学生らしく毎日きちんと目標を立てて、勉強していきたいです。私の中学校三年間のスローガンは「ちりも積もれば山となる」です。この慣用句の意味はどんな小さなことでも積み重ねれば大きくなることです。図書館の本をたくさん読み、学校行事にも積極的にチャレンジして経験を積み重ねていきたいです。

立派な白百合生となるよう、これからご指導よろしくお願ひします。



中学1年 八木 千佳

八十一人の仲間と共に、高校生としてのスタートを切った二ヶ月が経ちました。先生方や先輩に温かく迎え入れていただき、たいへん心より感謝いたします。日々の課外授業や部活動など、充実した毎日を送ることのできる喜びを感じています。これから、より本格的に始まっていく高校生活は、楽しいことばかりではない、様々な困難や課題にも突き当たることでしょう。そうした一つ一つの壁に、仲間と共に助け合い、励まし合いながら乗り越え、自分たちの力で充実した三年間を過ごしていきたいと思えます。

歴史ある仙台白百合学園の生徒としての自覚と誇りを忘れることなく、本学園の建学の精神である、「奉仕の心」を持って、従順・勤勉・愛徳を体現できる女性、そしてグローバルな視野を持って国際社会に貢献できる人間へと成長できるように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



高校1年 森 凜々子



「生きる喜び」をテーマに考えました

私は、500の時間に聖書をもとにして「生きる喜び」についての紙芝居を作りました。私は「迷い出た羊」という聖書の箇所を参考に作りました。百匹の羊の中の一匹が迷い出た羊を探し、羊飼いはその一匹を見つかるまで探しに行きます。迷い出た羊はとても悲しい思いだったのではないかと解釈しました。私がこの紙芝居に込めたことは、とても不安になったり悲しくなったりしても、誰かが共感してくれるから心配しなくてもいいのだというメッセージです。

この活動を通して、悲しんでいる人や苦しんでいる人たちの思いに共感し、一人一人を愛することが私にとっての生きる喜びだと考えました。また、クラスの人たちの発表を聞いて、今に感謝して精一杯楽しむことも生きる喜びだと感じました。

中学2年 稲木 彩織
聖書の「ことば」
紙芝居

N.Yで活躍する先輩からのメッセージ



マンハッタンのすばらしい夜景をバックに
看護師 加藤 悠里亜
平成22(2010)年度卒業生(高校63期) LSCコース

言いますが、本当の話です。それなのに何故、白百合がこんなにも私にとって大切な存在になったかと言うと、偏にいつも力強く背中を押してくださった先生方と親友となるクラスメイトたちのお陰でした。あのメンバーでなければ今の私は存在できないと言えるほど、大切な人たちです。

私が看護師、助産師を目指したのは、ドラマに影響されたと言う安直な理由でしたが、この仕事を選んだことは正しかったと思っています。「人の命」に関わる職業だからこそ、自分の仕事の重要性を感じ、そして、自分自身を誇りに思えるからです。日本の大病院で3年間働いた後、私は留学をし、ニューヨークで新たに看護師として働く決意をしました。全く違う環境で生活し、働くことは楽ではありませんが、白百合で培った知識と経験はいつも私の力になってくれています。

高校3年間はできる選択が広い分、誘惑も多い、そして、今しかできないことが沢山ある時期です。しかし、「知識は誰にも奪われることのない財産」と言うように、学びは決して私たちに裏切りません。どうぞ、沢山経験し、知識を貯めてください。それは、一生皆さんを支えてくれるはずで、そして、皆さん一人一人にとって実り豊かな日々を過ごしてください。

私が仙台白百合学園で過ごした高校3年間は、今振り返ると一瞬の出来事だったかのように思います。しかし、その短い時間に自分の基礎となり一生私を支えてくれるものを築き上げることができました。正直に言うと、私は白百合に入学した当初、雰囲気になじめずに学校に行きたくないと感じる時期がありました。そんなことを言うと、クラスメイトは「嘘だー!」と、

教育実習を終えて

白百合女子大学 国語 菅原 樹里

6年間通ったこの仙台白百合学園に教育実習生として戻ってくるのができ、嬉しく思います。また、多くの先生方にご指導いただけたことに感謝しています。3週間たくさん大変なことがありましたが、先生方や生徒の皆さん、実習生の仲間のお陰で無事に実習を終えることができました。この実習で得た気づきを忘れず、教員になった際に活かすことができるよう頑張ります。いつの日か母校に教員として戻ってくることをできるよう努力します。



仙台白百合女子大学 英語 三浦 理沙

中学、高校6年間過ごした母校に戻り、再び先生方からご指導いただき嬉しく思います。教員という仕事の一部を経験し、生徒として過ごした時間は先生方のご尽力の上に成り立っていたのだと気付きました。実際に自分で授業を行ない、当たり前のように受けていた授業は先生方の工夫が詰め込まれていたと分かりました。とても短い3週間でしたが、教員の責任の重さとやりがいを知った充実した期間になりました。

仙台白百合女子大学 英語

佐藤 瑞奈

3週間の教育実習では中学・高校合わせて3つの学年を担当させていただきました。たくさんの生徒と関わる事ができました。授業を始めてからは緊張する事もありましたが、生徒の皆さんが温かく迎えてくれたので最後には楽しく授業を行うことができました。授業の後「わかりやすかった」「楽しかった」と話してくれた時はとても嬉しかったです。短い間でしたが、実りの多い実習となりました。本当にありがとうございました。

女子栄養大学 保健

三宅 留実菜

中高6年間お世話になった母校で教育実習をすることができ、とても幸せな3週間でした。クラスによって雰囲気や反応、学習に対する意識などが違い、様々な発見と学びを得ました。生徒に合わせて、臨機応変に授業スタイルや内容を変えること、限られた時間の中で教えることの難しさを感じました。生徒の皆さんの笑顔にはいつも励まされ、先生方には沢山の指導を頂き、ありがとうございました。

エンカレッジコース 新教頭挨拶

「一歩ずつ」



エンカレッジコース
教頭 渡邊 優子

ここ仙台白百合学園高等学校に、全国の姉妹校で初めて通信制課程「エンカレッジコース」が開設されて今年で8年となります。開設以来、すべての生徒を見守ってこられた前任の阿部和彦先生の後を受け、この4月より通信制課程の教頭職を拝命いたしました。「従順・勤勉・愛徳」の校訓を胸に、学園と生徒たちのために尽くして参ります。至らぬところばかりですが、生徒とともに一歩ずつ、前に進んでいきたいと存じます。

今、先の見えない時代にあって、子どもたちの学びの在り方も、大きな変革のときを迎えています。価値観が相対化、多様化し、人は自分の行動原理を自分で作り出していかなければなりません。日々が目まぐるしく過ぎていく中、変わらずそこにあるもの、香り高い白百合の花のように揺るぎないものの存在は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。卒業生でもある私にとって、それは聖書の教えであったり、マリア様の像の前で過ごすひとときであったりします。仙台白百合学園で学ぶ生徒一人ひとりの大切なものが損なわれることなく、彼女たちの「一歩踏み出す勇気」の支えとなることを願ってやみません。

新任紹介



小学校
教諭 清水 明美



小学校
助手 Mary Ann Pascual



中学・高等学校
教諭 理科 中川 靖之



中学・高等学校
教諭 英語 米澤 光也



中学・高等学校
教諭 国語 田浦 佳奈



中学・高等学校
教諭 家庭 千葉 ミユ



エンカレッジコース
教諭 数学・情報 村上 洋



エンカレッジコース
教諭 社会 阿彦 愛永

退職された方々

幼稚園
田川 悦子

小学校
高清水 由紀
日下 瑞穂

中学・高等学校
布施谷 和
佐藤 徹章

エンカレッジコース
山野 康史

訃報

元教頭の山口春野先生(スール・マリ・デッラ・パッション)が令和3年1月27日、駒木麗子先生(家庭科)が令和3年2月17日に亡くなりました。天国での安息をお祈り致します。

仙台白百合学園 学園報
学園からのニュース・お知らせ

News & Information

卒業生の近況・在校生の皆さんへ

東北大学 歯学部 入学
芦野 有紀

皆さん、こんにちは。私はこの春に東北大学歯学部に入學しました。

現在、新型コロナウイルスの影響で、火曜日と水曜日以外のほとんどはオンライン授業です。歯学部の1年の前期では、教養科目と専門科目である歯学概論を川内キャンパスで授業を受けています。川内キャンパスは緑豊かな広々としたところで、施設も充実しています。教養科目は高校の時と違って、練習問題はほとんどなく、専門的なもので難しく感じます。また、高校で習ったものは常識として授業が進められます。歯学概論は、現代の歯学医療や歯の仕組みについて習っています。そして、どの授業もレポートの課題が多く、週によって差はありますが、多い時は受験の時と勉強時間は変わりません。受験は通過点に過ぎず、勉強は生涯続くものであると実感しています。しかし、高校では習わない未知の領域を沢山学ぶことができ、楽しく感じることもあります。まだ慣れないことはありますが、頑張っていきたいと思います。

仙台白百合学園では沢山の先生方と交流することができました。先生方には最後まで進路相談に乗ってくださり感謝しています。友人たちとはコロナでなかなか集まることはできませんが、通話やSNSを通じて今でも高校時代のように話しています。皆さんもこの仙台白百合学園での学びを大切に自分の目標にしっかり向き合ってください。応援しています。



上智大学 法学部法律学科 入学
作間 希実佳

みなさんこんにちは。私は今、オンラインと対面、2つの授業形態で大学での学びを進めています。昨年からのコロナウイルスの影響は収まることを知りませんが、こんな状況でも自分なりの目標を立て、同級生と励まし合いながら頑張ることができているこの環境に、とても感謝しています。1年生の今は教養科目も多く、自分の専攻とは違って興味のあることをたくさん学ぶことができ、日々の発見を楽しんでいます。また、新たな挑戦を求めて競技ダンス部に入部しました。緊急事態宣言中はオンラインでの練習をよぎなくされましたが、6月からの対面での練習会を楽しみに、今できる努力を続けています。

私は大学に入學してから、高校までとのギャップに驚くことが多くあり、その度に自分がいかに家族や先生、友達など周りの方々から支えられていたのかを実感しました。仙台白百合学園には、自分を尊重してくれる環境があり、自分がやりたいこと、進みたい道を見つけることができます。ですからみなさんには、日々周りの方々への感謝を忘れず、「今」を全力で楽しんで、全力で生きてもらいたいと思います。私も隣人を愛し、隣人に愛されながら「今」を全力で楽しもうと思っています。お互い笑顔で頑張りましょう!みなさん一人一人の幸せをお祈りしています。



令和2年度 大学合格状況

種別	学校名等	合格数	種別	学校名等	合格数	種別	学校名等	合格数	種別	学校名等	合格数	
国立大学 10名	東北大学	2	私立大学 92名(1)	獨協大学	1	私立大学 12名	獨協大学	1	就職 3名	就職3名	航空自衛隊自衛官候補生	1
	宮城教育大学	1		千葉科学大学	1		エンカレッジコース(通信制課程)	白百合女子大学		1		
	宮城大学	3		神奈川工科大学	1			日本医療科学大学		1		
	山形大学	2		城西国際大学	2			日本大学		1		
	国際教養大学	1		フェリス学院大学	1			法政大学		1		
	埼玉薬学専門学校	1		東京福祉大学	1			立教大学		3		
	仙台白百合女子大学	19		聖都国際大学	1			和洋女子大学		1		
白百合女子大学	2	青山学院大学	5	岡山理科大学	(1)							
東北学院大学	6	江戸川大学	1	仙台青葉学院短期大学	11							
東北福祉大学	5	桜美林大学	2	上智大学短期大学部	1							
宮城学院女子大学	5	芝浦工業大学	1	仙台経済看護専門学校	1							
東北医科大学	3	上智大学	7	仙台経済看護専門学校	2							
仙台大学	1	女子栄養大学	1	仙台理容美容専門学校	2							
尚絅学院大学	1	女子美術大学	1	MGFマナー・ビジネス学院	1							
東北文化学園大学	1	聖心女子大学	5	仙台文化服装学院	1							
北海道医療大学	2	玉川大学	2	宮城文化服装学院	1							
東北芸術工科大学	2	東京国際大学	1	聖和学園短期大学	1							
医療創生大学	1	東京女子大学	1	仙台青葉短期大学	1							
				留学	台湾私立世新大学	1	同志社女子大学	1				
					私立マーキー東北支店	1	青山学院大学	1				
					仙台文化服装学院	1	学習院大学	1				
					仙台文化服装学院	1	東京女子大学	1				
					仙台文化服装学院	1	日本女子大学	1				
					仙台文化服装学院	1	法政大学	1				
					仙台文化服装学院	1	百林大学	1				
					仙台文化服装学院	1	麻布大学	1				
					仙台文化服装学院	1	東北福祉大学 通信教育部	1				
					仙台文化服装学院	1	聖和学園短期大学	1				
					仙台文化服装学院	1	仙台青葉短期大学	1				
					仙台文化服装学院	1	仙台こども専門学校	1				
					仙台文化服装学院	1	文化服装学院	1				
					仙台文化服装学院	1	仙台総合ペット専門学校	1				